

腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、文部科学省と厚生労働省の「疫学研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+) 進行非小細胞肺癌 (NSCLC) 治療の観察研究

[研究機関] 北海道大学病院腫瘍内科

[研究責任者] 木下 一郎 （腫瘍内科・准教授）

[研究の目的]

EGFR 遺伝子変異を有する進行もしくは術後再発の非小細胞肺癌の患者さんで、EGFR 阻害剤（イレッサまたはタルセバ）による初回治療が無効となったあとの経過と治療の実態を調べるため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

EGFR 遺伝子変異を有する進行もしくは術後再発の非小細胞肺癌の患者さんで、2009年1月から2011年12月までに初回化学療法としてEGFR チロシンキナーゼ阻害剤（イレッサまたはタルセバ）治療を開始された方

●利用するカルテ情報

性別、年齢、全身一般状態、喫煙歴、合併症、既往歴、身長、体重、臨床病期、組織型、転移臓器、肺癌に対する治療歴の有無、EGFR 遺伝子変異の有無、血液検査、初回EGFR 阻害剤の種類と開始日、EGFR 阻害剤治療の経過、EGFR 阻害剤後の治療の内容と経過。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究にカルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院腫瘍内科 担当医師 木下 一郎

電話 011-706-5551 FAX 011-706-5077